

育成センターだより

編集・発行 千曲市少年育成センター
事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内
お問い合わせ：TEL 273-1111 内線 6341

【児童・生徒の教育相談】

- * 相談日・時間
土・日曜日及び祝日を除く毎日
AM9:00～PM5:00
- * 場 所
市総合教育センター内（埴生中学校敷地）
教育相談センター
電話相談・面接相談 273-5105（直通）
(秘密厳守)

【青少年の生活相談】

- * 相談日・時間
原則として月・水・金曜日とします
AM9:00～PM4:00（要・予約）
- * 場 所
千曲市役所 戸倉庁舎 3階
少年育成センター（生涯学習課内）
電話相談・面接相談 273-1111（内線 6344）
(秘密厳守)

今月の家庭の日 12月16日（日）

師走、気忙しく時が過ぎがちです。家の掃除や片づけなど、新しい年を迎える準備を家族一人ひとりが協力して行い、互いに助け合い、協力できる家庭づくりに努めましょう。

メールでも相談をお受けします

（24時間受付）

[E-mail : youth@city.chikuma.lg.jp](mailto:youth@city.chikuma.lg.jp)

相談員がメールでお答えします。
(秘密厳守)

地域の安全のために

更埴地区少年補導委員

近年ではゲーム、パソコン、スマートフォンといった遊び道具が増えているため、学校から帰ってきた子ども達が外でにぎやかに遊んでいる姿が少なくなってきたり、感じています。そういった機器での他人との交流による事故件数が増えている一方で、まだまだ危険な事件が世間をにぎわしている時代です。いじめによる自殺、連れ去りなどといった悲しい事件も有り、心が痛みます。当地区でも過去に、千曲川の堤防などの人の気配のないところで声掛けをしたり、帰宅中の小学生へ「飴やお菓子などあげるよ」などと声をかけ車に乗せようとしたりするなどといったこともありました。最近はそのような話はなくなりつつありますが、巡回中の保護者の皆様から時折、不穏な話を耳にすることもまだあります。

補導委員は巡回が主な仕事ですが、やはり大切なことは笑顔であいさつを交わすこと。そうした中で人と人との繋がりが、思いやりが生まれてくるのではないかと思います。ネット社会の今、そうした人と人の繋がりが画面上で行われることが多くなり見えた。周囲でも常に携帯を手にし、顔を見ずに話をするなど多く見受けられます。ネット社会は非常に便利です。ボタン一つで何でも調べることができるからです。ニュースや情報、調べものにも私にもよく使います。でも、恐ろしい事件にも繋がります。感情が見えず、文面だけのやり取りでは、やはり心を育むことは出来ません。現役での仕事は営業をしてまいりましたが、顔を合わせ言葉をお交わすことが、やはり人と人の繋がりを生むのではないかと考えます。また、そういった繋がりが、事件事故を未然に防ぐ力になっていくのではないかとも思います。

安心して公園で元気に飛び回ったり、部活動や趣味などでスポーツに励んだりする子ども達が増えている、安心して暮らしていける、そんな地域づくりに補導委員として地域に協力していかれることを心がけていきたいと思っています。

子ども達の明るい未来のために、目配り声掛けだけではなく、笑顔であいさつを交わすことに心がけ、隅々まで目を光らせて地域の安全を目指していきたいと思えます。

第3日曜日は家族ふれあう「家庭の日」 増やそう会話、つくろう思い出！
— 年末の心もみがく大掃除 —

～ 11月の定例補導委員会議より～

11月1日に、定例補導委員会が開催され、以下の事項等について協議・連絡を行いました。

1. 千曲警察署生活安全課より

10月は特殊詐欺、声かけ事案等騒がしい月だった。「ライポくん安心メール」に載ってはいないが、男に後をつけられたり声をかけられたりという事案があった。通学路の緊急点検を実施した時には、空き家・神社脇の暗がり、学校周辺の細い道などが共通の危険個所となっていた。声かけ事案の場所も含め、青パトでの補導巡回の折に気にかけて回っていただけるとありがたい。

2. 11月強調月間にかかわる街頭啓発活動：11月1日（木）しなの鉄道屋代駅にて実施

※地域振興局・千曲警察署・少年警察ボランティア・生涯学習課、補導委員会（会長）の参加。

ひまわりっ子育成県民運動を推進している「長野県子ども・若者育成支援推進本部」「長野県将来世代応援県民会議」からのチラシやティッシュ600部を配布。

3. 9・10月補導日誌より：子ども達とつながる「声かけ」の事例を中心に報告

4. 不審者情報 声掛け事案の認知状況について

5. 11月～2月の補導計画の確認：定例の補導巡回は3：00～5：00、青パトで巡回。

12月は、八幡の武水別神社「大頭祭（10日～14日）」中の特別巡回も実施：11日～14日の4日

6. 補導委員視察研修 11月28日（水）

長野県警察学校（松代）・法務少年支援センター長野（三輪）の視察、研修

7. 青少年健全育成県民大会への参加 11月10日（土）諏訪市文化センター



補導日誌から



中学生から元気をいただく

10月10日（水） 4:00pm～6:00

更埴西中学校へ寄ってみました。水曜日（5時間授業）校庭など、生徒の姿はありませんでした。八幡小学校へ回ってみると、校庭には子ども達が遊んでいました。校庭の石段の所に中学生がいたので声をかけてみました。全員が挨拶をしてくれました。勉強をしていたとのことでしたので、「がんばってね」と言うと、車を見たのか、「パトロールがんばってください」と返事が返ってきました。

みえない相手を感じる思いやりを

10月24日（火） 4:00pm～6:00

屋代高校前駅の放置自転車は10台でした。防犯シール、所有権の問題など難しいようで、なかなか引き取りをしてもらえず、係の人も困っていました。中学校へ回ってみると、ちょうど部活の終了時間らしく帰宅の中学生が大勢いました。みんな元気よく挨拶してくれました。科野の里ふれあい公園へ回りました。大分暗くなってきたので誰もいないと思っていたのですが、親子連れが3組ほど遊んでいました。駐車場は多くの車が止まっていました。公園利用者以外の車の駐車も多いようです。マナーは守って欲しいものです。

補導委員の仕事ではないけれど

10月24日（火） 4:00pm～6:00

上山田児童館では、1人の5年生が児童館の先生とサツマイモのつるでリースを作っていました。明るく話す良い子でしたが、自転車に鍵をかけていなかったのが気をつけるよう話をしました。三本木公園では、小学生9人がボール遊びしていました。男子トイレの大便器（洋式）の脇に大便がされており、状況から故意にされたものと思われました。そこにいた子ども達に聞いてみましたが、知らないとのことなのでその場で処理しました。「洋式」ができない人なのではないでしょうか。小船山公園では、埴生中学校

生徒7人が夕暮れの中バスケットボールをしていました。近く大会があるということでしたが、暗くなる前に帰宅するよう声かけをして別れました。女子ばかりの7人、素直でした。

不思議な時代になりました

10月24日(水) 4:00pm~6:00

屋代駅構内、2~3人の女子高校生が椅子に座ってスマホに夢中でした。列車待ちのサラリーマン2~3人も同じく、ひたすら立ちながらスマホに夢中でした。とても「声」をかけられる状態ではありませんでした。構内は、静寂でした。駅周辺は、高校生の姿はなく閑散としていました。

それぞれの秋を楽しんで

10月26日(金) 4:00pm~6:00

更埴中央公園の紅葉が綺麗でした。滑り台には小さな女の子と乳児が母親に連れられて来ていました。グラウンドでは、ホームベースの傍で3人の男の子が戯れながら野球をしていました。ときどきここに来ている子です。ストレッチや運動器具の設置してある場所でも、女の子2人が母親に付き添われて遊んでいました。サッカーボールを蹴っている子、自転車に乗っている子、犬の散歩をしている人、それぞれが秋を楽しんでいました。



【環境チェック活動の巡回調査から】

お客さんがいるにもかかわらず

11月6日(火) 3:00pm~5:00

美容室にチェックに入ると、どこの店も年配のご婦人がいらっしゃいました。取り込み中申し訳ないとお断りして声をかけると、笑顔で挨拶を返してくれました。この活動を実施することについては地区の回覧板で回っているので「環境チェック」の取り組みはご理解いただいていたと思います。

青少年健全育成協力店としての活動に感謝

11月8日(木) 3:00pm~5:00

A薬局の店内は明るく、ひと目で何がどこにあるかわかりやすく、薬剤師の方にも明るく対応していただきました。B酒店では、昔は家のお使いで子どもが来店したこともあったが、今は全然ないとおっしゃっていました。皆さんお忙しい中お邪魔したにもかかわらず、丁寧に対応していただき、「青少年健全育成協力店」として日常ご協力していただいております。感謝の気持ちで一杯です。

編集室の窓

声をかけてくださいな

コラム欄に、子ども達の外遊びが少なくなってきた、というご指摘がありました。「川や池で遊んでいる子ども」となると更に少ないでしょう、時の流れとともに社会の変化を感じます。

大雲寺の池に放課後、よくザリガニを捕りに行ったことが懐かしく思い出されます。石垣の穴に潜んでいるザリガニ。割いたスルメを糸にくくりつけて誘います、その穴にいたことがわかると根気比べでした。そろっと引き上げるまでに独特のテクニックがありました。それは逃げられ失敗しているうちに身に付きました。お宮の横を流れている川に入って、魚をつかみ取ろうと魚の潜んでいそうな場所を両手でそっと探る…。そんなことをしながら上流へ上流へと。そうしているうちに日が暮れました。「〇〇ちゃん、遊ば」…だれもが自然に入り込んで、泥臭い遊びの日々でした。そこで出会う見ず知らずの地域の人ともつながっていく、そういう場でもありました。声をかけられ、時に叱られながら。

今、公園は整備され遊具が整い、安全な場所はそれなりに保証されています。決まりを守って仲よく遊んでいる子がたくさんいます。寒ければ家の中で遊び、暗くなれば約束通り家に帰る子ども達です。補導日誌にも、「子どもの姿がない」という文言が度々記されています。無理はしないようです。一方、そこ大丈夫かなというような場所で遊びに浸り込む子ども。そんな子どもに出会ったら、…「悪い子」ではありません、たくましい子どもです。声をかけてあげてください、つながる絶好のチャンスです。

子ども達が、粘り強く意欲的に取り組んでいくためには、夢や目標をもち、その達成に向けて取り組むことが何よりも大切です。今の子ども達には夢がない、と言われていました。そんな子ども達が、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているかを紹介します。

ぼくのしょう来のゆめ

3年 宮尾 颯亜

ぼくのしょう来のゆめは、大工さんです。なぜかという、ぼくの家をつくる時大工さんがいて、いろいろな道具を使って、たくさんの木を組み立てていて、かっこよかったです。

ぼくは、木を使ってとんかちでくぎをうつのが、とっても楽しいです。前、おとうさんがぼくの家ウッドデッキをつくりました。木をえらびに行くと、いろいろなしゅるいの木があって、とてもいいにおいがしました。そんな木のおいにかこまれているのはいいなと思いました。おとうさんがウッドデッキをつくっている間、あまった木やくぎを使ってロケットを、自分で考えて、木やくぎを使ってつくることがとてもたのしかったです。

だから、ぼくはそんなものをつくる大工さんになりたいと思います。ぼくの家も自分でつくれるかっこいい大工さんになれたらいいです。

ぼくがしょう来になりたいこと

3年 小幡 歩夢

ぼくのしょう来のゆめは、食べ物やさんを開くことです。なぜかという、食事 みんなの空ふくを満たして、楽しんでほしいと思うからです。

そのために、まずは調理の仕方を学んで練習をします。ぼくの好きな、ピザや焼き肉をメニューにできるように、食材を考えて、おいしく作る練習をしたいと思います。デザートには、手作りアイスやクッキーを楽しんでほしいので、おいしいデザートが作れるようになりたいです。

そして、お店を開いたら、いっしょにはたらく店員さんにもやさしくお客さんへの対おのこを教えてあげたいと思います。お客さんが楽しんで食事ができるように、子どもの遊び場や、コーヒーなどの飲み物のサービスも考えたいです。

こんなお店ができて、みんなによろこんでもらえたらうれしいです。

図書館の先生になりたい

3年 田仲 優希乃

わたしのしょう来のゆめは、図書館の先生になることです。毎日本を読んでいろいろな本を知りたいからです。保育園の年少のとき、絵本の絵のぶぶんだけを見ていたとお母さんが言っていました。そのころから本が好きだったんだなと思いました。

小学校の図書館に行ったときに「こんなにいっぱい本があるんだ」とびっくりしました。毎日図書館に通って、おもしろくて楽しい絵本をさがして読みまわりました。2年生からは「9」の物語の本をかりるのが楽しみでした。絵本よりも文が長いのでわくわく、どきどきも大きくなります。3年生になった今は、もっと長い本をかりられるので、うれしさ倍ぞうです。そんな長いお話も一日で読めるようになりました。

お母さんはあまり本が好きではありません。私が図書館の先生になってお母さんに本のおもしろさをもっと知ってほしいと思います。